

「使い道」を厳しく審査

今定例会では、市長から提出された令和2年度予算に関する議案（9件）について審査が行われました。

議長を除いた全議員で構成する予算決算常任委員会全体会で慎重な審査を行ったほか、委員会に2つの分科会を設け、集中的に審査を行いました。

◆令和2年度一般会計予算

市税歳入について

法人市民税5,500万円、個人市民税4,100万円の減額となっている理由は

法人市民税については、法人税割の税率が12.1%から8.4%に引き下げられ、個人市民税については、配偶者特別控除の見直し
が主な減額の理由である。

SDGs推進事業

指標を設定とあるがどのような指標なのか

北陸先端大と九州大学の馬奈木教授の指導のもと、SDGsの実践とその効果を計る指標として、「新国富指標」の活用を考えている。

定住促進助成交付金事業

事業の目的と対象を東京圏に絞った理由は

若者のUターンの推進、子育て

て世代の移住促進及び一日でも早く能美市での暮らしに馴染んでもらうための支援を目的としている。理由については、国が地方創生の枠組みを進めている、東京一極集中の是正としている地域に準じ、東京圏に限定した。

子ども子育て支援推進事業

寿保育園においてモデル的にICT化を進めてきたが問題点・課題点はなかったか

保育サービスの向上については、「欠席の連絡がしやすくなった」など、保護者から好評であり、また、保育士業務においてはタブレットの台数を各クラス1台で想定していたが、増設し、負担軽減に努めている。

事業承継支援事業

ワークショップとは具体的にどのような取り組みなのか

事業をしている家族が集まっ

てもらい、子供に父親や母親がどのような仕事をしているのか理解してもらえらるような取り組みを考えている。

女性分団整備事業

女性ならではの視点を活かすとあるが具体的に何か

現在の消防団活動の中から特に広報活動に重点をおいた活動として、女性の優しさや繊細な心配りを活かして、住宅用火災警報器の普及促進や、一人暮らしの高齢者宅の防火訪問、大規模災害時における避難支援や炊き出し等の避難所支援などにあったっていただくことを検討している。

